

福井塾 in 伊勢原(2013年3月16日) レポート

3月16日(土)、伊勢原・彩根淡にて福井塾が開催され出席しました。久しぶりに伊勢原の空気を吸いましたが、大変暖かい穏やかな日となりました。東京では早くも桜の開花宣言だそうです！！

出席者は、4期生 木暮さん、浅川さん、5期生 天沼さん、多賀、7期生 中野さんです。



今回のテーマは、NEDO*の助成金を活用した、福井先生が十年來頭に描かれている車いす開発についての検討です。

(※) 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDOの募集内容の確認と、福井先生が考えておられる車いすについて議論されました。

4月には募集要項がはっきりし内容が具体化してくるものと思われます。塾生の皆さん、いろいろアイデアをお持ちのことと思います。一緒に考えましょう。

以下、塾の概要です。

1. NEDO「福祉用具実用化開発推進事業」に係る公募

「福祉用具実用化開発推進事業」に係る公募について（予告）平成25年3月8日

http://www.nedo.go.jp/koubo/EK1_100014.html

1.事業内容

(1)概要

「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」に基づき、福祉用具の開発を行う企業等に対して助成金を交付することにより、福祉用具の実用化開発を推進し、高齢者、心身障がい者及び介護者の生活の質を向上することを目的としています。

(2)助成率及び助成金の額

- i. 助成率は、助成対象費用の3分の2以内です。ただし、大企業は2分の1以内です。
- ii. 助成金の額は、1件当たり全期間で3,000万円以内です。
- iii. 研究開発期間は、3年以内です。

(3)公募期間

平成25年4月中旬～平成25年6月上旬(最終日午後17時まで)の予定です。

助成金は、3000万円以内。公募開始予定4月中旬。

メール配信サービスに天沼さんが登録しました。NEDOの最新情報が送られてきます。

2. 福井先生ご提案の車いす

福井先生ご自身が普段不便を感じておられてこういう車いすがあったら使いたいと十年来頭に描かれているものです。

(開発コンセプト)

開発のコンセプトは、筋ジストロフィー症、パーキンソン病、脊椎損傷などの車いす利用者で介助者なしではトイレ、浴室等で移乗するのが困難な人が自立できる車いすで、①褥瘡を予防し、介助なしで②風呂でシャワーチェア、③トイレで便座を使用できるというものです。

(イメージ)

塾生は、FJC実践塾のシーティングの講義で大転子と大腿部の裏側で体を支えると褥瘡が起きないことを学びました。その実例が、先生が愛用されている褥瘡予防クッション=J2ディープクッションです。

(<http://www.accessint.ne.jp/seating/cushion.html>)



ジェイ J2ディープクッション

2013年1月21日 値下げしました

ほとんどの方には十分な褥瘡予防効果を発揮するJ2クッションでも、骨盤が片側に傾いて固定されている方や極端に痩せている、または骨張っている方で、J2クッションでも底付きを起こしてしまう方、そして頻繁な除圧の困難な重度の障害の方のために開発された製品が、このJ2ディープ・クッションです。

形状は？ 写真にあるクッションの凹部を削り抜くと、移乗しないでそのままシャワーチェア(入浴用車いす)となり、またトイレにも行けるようになるのでは…？

クッション材の材質は？ 適度な柔らかさ硬さがあり水に濡れてもすぐ乾くことが求められるのでは…？

皆さん一緒に考えましょう。

以上 5期生 多賀 章